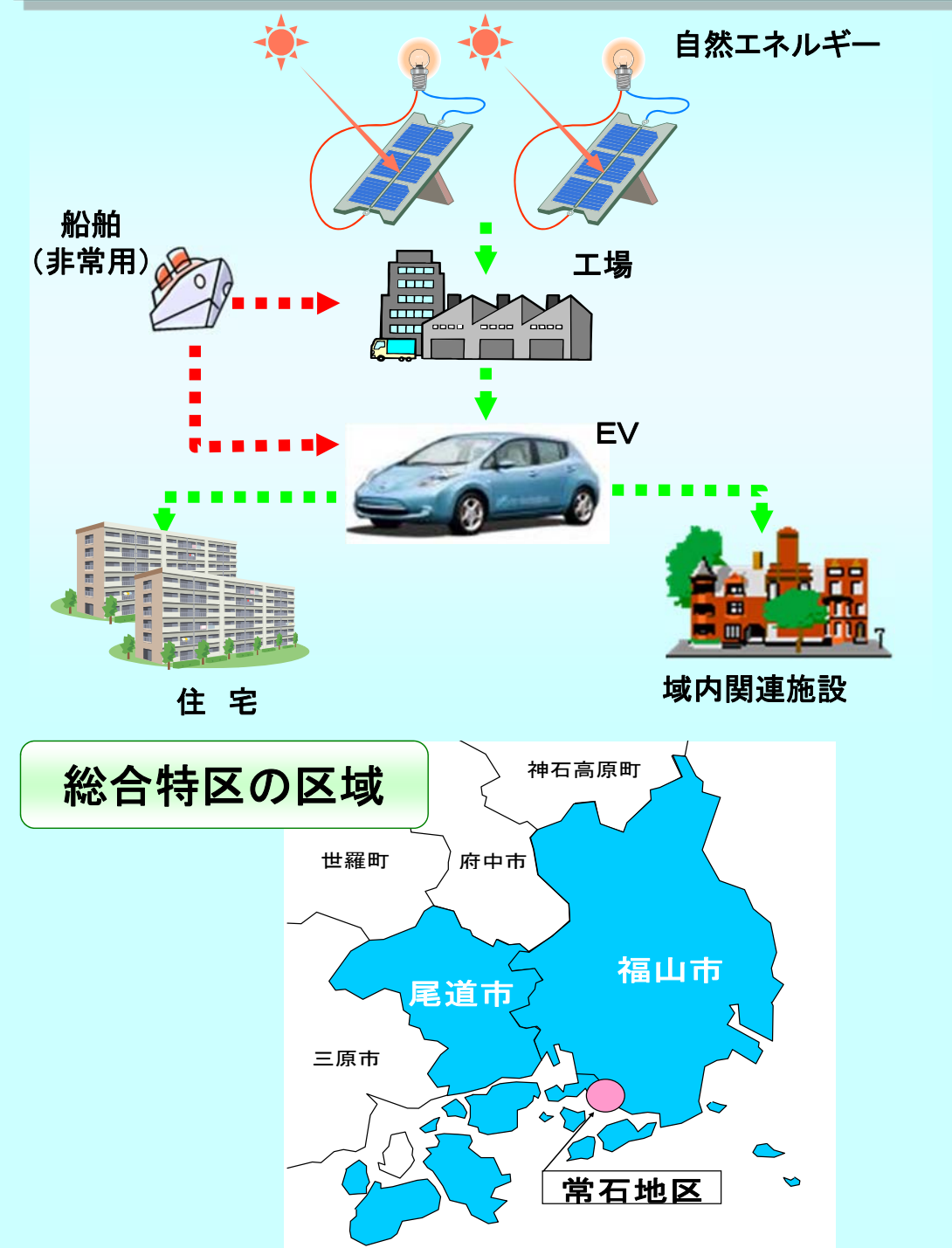


【地域活性化総合特区】環境観光モデル都市づくり推進特区【広島県】

- ### ①産業部門と民生部門が連携したエネルギー高度利用システムの構築
- ①造船工場区域を中核とした“臨海型”スマートコンパクトシティの構築
 - ②工場と家庭が一体となった地域完結型のエネルギーマネジメントを目指した地域づくり
 - ③エネルギー最適マネジメント手段としての、電気自動車、船舶等の活用



- ### ②「環境観光」の振興
- ①特色ある環境・エネルギー技術や地域産業観光資源を活用したオンリーワン観光コンテンツの整備(サイクリング等エコツーリズム)
 - ②他に見られない特色あるモビリティの開発・導入(電池遊覧船, 電動原動機付自転車等)
 - ③新たな環境観光(産業観光)エリアとしての外国人観光客・教育旅行客も含めたPR・キャンペーン



- ### 目標
- ①地方都市に特有な工場・住宅等の近接、自動車依存といった実態を踏まえ、工場と家庭が一体となった地域完結型のエネルギーマネジメントを目指した地域を構築
 - ②特色ある環境技術を活かした産業観光や、エコモビリティを活用した観光の低炭素化に取り組むことにより、環境観光をコンセプトとした新たな地域振興モデルを構築

- ### 【期待される効果】
- 5年後の経済効果・観光消費額の増加(直接効果約3.3億円 + 波及効果)
 - 5年後の新たな雇用・環境観光の実現に伴い、一定規模の増加が見込まれる。

政策課題	解決策	新たな規制の特例措置などの提案
政策課題1: エネルギー利用の高度化 ○我が国のエネルギー需給構造の抜本的な高度化を図るため、環境負荷が少なく、安全性に優れ、電源喪失時等への対応可能な自立的なエネルギー供給システムの確立が急務	解決策1 ○再生可能エネルギーを中心としたエネルギーの自給自足を目指したコミュニティ構築 ○船舶等を活用したエネルギー供給支援システムの構築	(規制の特例措置) ○住宅における直流配線に関する基準の明確化 ○電気自動車等のバッテリーから家庭への給電に関する基準の明確化 ○船舶を用いた陸上への給電に関する基準の明確化
政策課題2: 地域経済の活性化 ○強靱な経済構造の実現のため、疲弊する地域経済において、環境・エネルギー分野を切り口として経済活性化にインパクトを与える新たな取組の推進が重要	解決策2 ○環境・エネルギー技術をテーマとした集客ビジネスの推進 ○観光手段の低炭素化	(規制の特例措置) ○2人乗電動四輪車等の新たな車両区分の設定

- ### 地域独自の取組
- 太陽光エネルギーの導入促進
・太陽光発電等設置推進事業補助金(福山市:H22~)
 - 総合特区推進体制の整備
・広島県総合特区計画PTの設置(H22.12~)
・「グリーンサステナブルパートナーシップ(仮称)」を設置し、趣旨に賛同する企業等の広域的な連携の下、事業推進に取り組む

- ### 地域協議会参画団体
- (自治体関係者)
・尾道市, 福山市, 広島県
 - (民間企業)
・ツネイシホールディングス(株), ツネイシCバリューズ(株), ツネイシヒューマンサービス(株), ツネイシクラフト&ファシリティーズ(株), (株)JTB中国四国
 - (大学, 研究機関等)
・岡山県立大学